

フルカラーコミック
Full Color Comic

黒猫館
肉の契り



くわいむれもん

adult only

原案：くりいむレモン 黒猫館
Story：ローライ CG：らも兄

私、あやは旦那様と肉の契りを交わしました。
それは未来永劫逃れられぬ奴隷の契約……

今日、旦那様はご自分の眼前で私がメイド服に着替えるさまを見たいと所望
されました。私は決して逆らえません。どんな恥辱を受けようとも……



エピソード1 夫妻の愛玩具 其の言

鮎川夫妻の性感を昂ぶらせるために存在する玩具、それが今の私です。股を開いてそそり立つ肉棒の上に乗りなさいと命ぜられれば、「はい」と二つ返事で応えて、仰せのままに従います。私に意思はありません。ただ、奴隷として生きるだけ……。



亜理沙お嬢様が物陰から覗いておられるのは分かっています。
おそらく旦那様も気付いておられたのではないでしょうが。でも、何もおっしゃいませんでした。きっと理解されていたのだと思います。血のなせる業であると。





ああ…
アナタ
ったら
こんなにな…

はあ
はあ…

いきり勃って

わん
わん
わん



素晴らしい
わ…

へあっ
はあっ

はあっ

わん
わん





んっ
んはっ
ハふう

はあ
はあ

ちゅちゅちゅちゅ

あ
お

奥様と私で旦那様を絶頂へとお送りすれば、それで
終わりになるわけではありません。私には奥様への
ご奉仕が残されています。
ですが、それらはとば口に過ぎませんでした。本当
の艱難は別のところにあったのです。

エピソード2 媚肉の調べ

旦那様は気の向くままに私の躰を弄びます。とりわけ女性器には執着が深く、股縄を科して辱めるさまを大鏡に映し、私にその心情を吐露させたり、悶える姿をうっとり眺めたりされました。



今でも私が忘れられない恥辱の儀式、それは処女検査でした。

旦那様は私を縛り上げて開脚状態で椅子に固定しました。

「これよりおまえの処女検査を始める」その言葉を聞いたとき、私は意味が理解できませんでした。

ですが、直後に全てを悟りました。

旦那様が私の未だ自分ですら確かめたことがない肉の花びらを無理やりめくり上げたからです。これ以上開かないというところまで。



旦那様に縛られて愛撫されるのはこれで何回目でしょうか。
処女検査の日から私の時間は止まってしまいました。玩弄、
調教されることに馴染んでいく己を疎ましく思います。



私は処女のまま、さまざまな辱めを受けました。旦那様の対応が変わったと感じたのは私の処女を奪う「破瓜の宴」が開かれた後です。それからは性器を虐げる調教が多くなりました。いえ、むしろそこから本番だったのかもしれない。男性器を模した張形で罵られるのは女としてこれ以上ない屈辱です。



そんな責めを被りながら、
遂には極致へと導かれて
放尿してしまう私は愚か
な女でしょうか。





エピソード3 早川家の御曹司

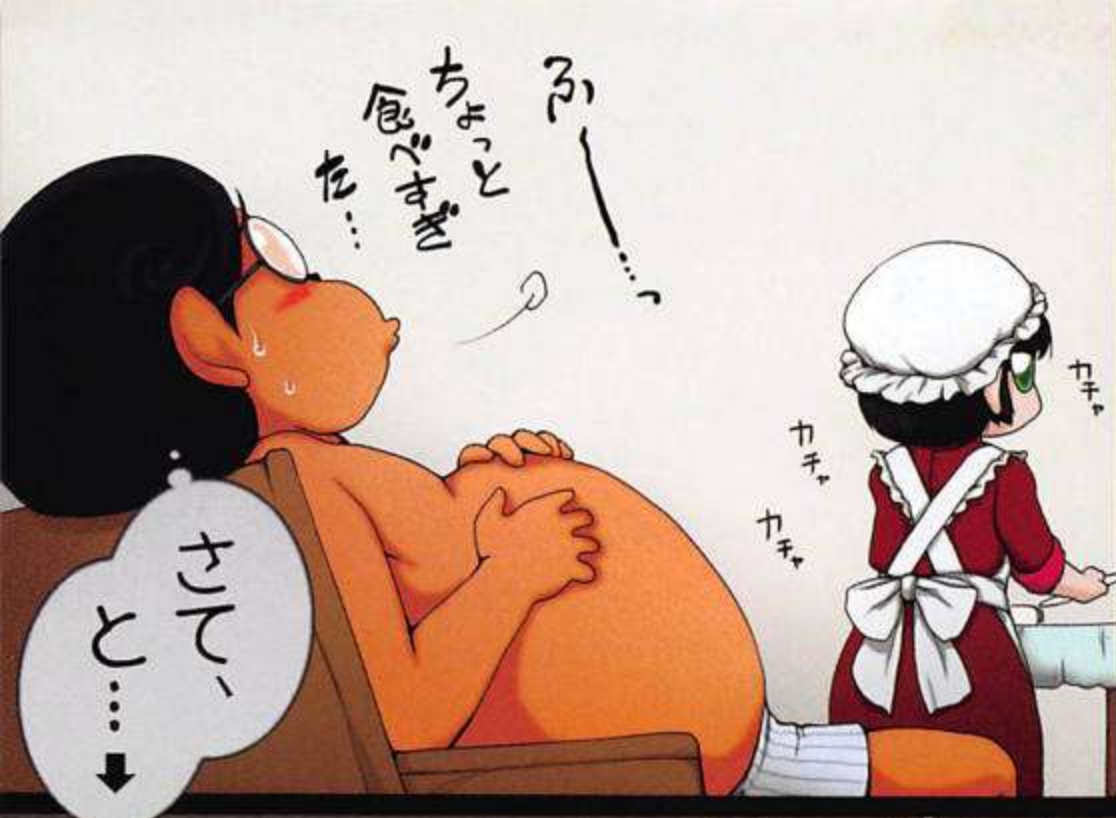
早川財閥の御曹司、早川拓朗は思った。いづれ夫婦になるであろう亜理沙との「夜の営み」に備え、こころで一発脱・DTしておきたい。

するとまさに、うってつけのメイドがいるという。拓朗は冴子夫人に頼み込み、今日一日、あやを借り受けることになったのだ。家事の最中に背後からくおおっと襲い、それはそれはヒュー言わせてくれるぜ！（経験は無いが、なっ）

逆らったらわかるね？
わかるね？

ほうーら
ほらほら

おっ
おゆるし
すすす




エピソード4 屋外調教

私の姿を見た街の人々は何と思ったでしょうか。「変態」きっとそう感じたに違いありません。私を全裸で縛り上げた旦那様はまるで当たり前の日常のように、「これから街に散歩に出かけるぞ」とおっしゃいました。私はその言葉を真実と受け止められませんでした。だってそれはうら若き少女にとって悪夢の現実だったから。

私は泣き叫び、「どうかそれだけはお赦してください」と懇願しましたが、旦那様は薄笑いを浮かべ、おもむろに鞭を取り出しました。その瞬間、私は抵抗する気力を失いました。この世に苦痛ほど説得力のある感覚はありませんから……。





街の人々が遠巻きに環視する中、
旦那様はだれからも見とがめられることなく、
公園で私を犯し始めました。
激しい抽挿、飛び散る汗と体液。私は堪え切
れずに嬌声を発していました。

どれぐらい時間が経ったのか、まるで
覚えていません。

旦那様は絶頂寸前に性器を引き抜くと私
に精液のシャワーを浴びせかけました。

白濁液でドロドロになり、茫然自失状態の
私に旦那様は告げました。
「あや、立ちなさい。帰宅するぞ」

エピソード5 供物くもつ

鮎川家が富豪として生活できるのは大日本帝国陸軍と密接な関係にあるからです。

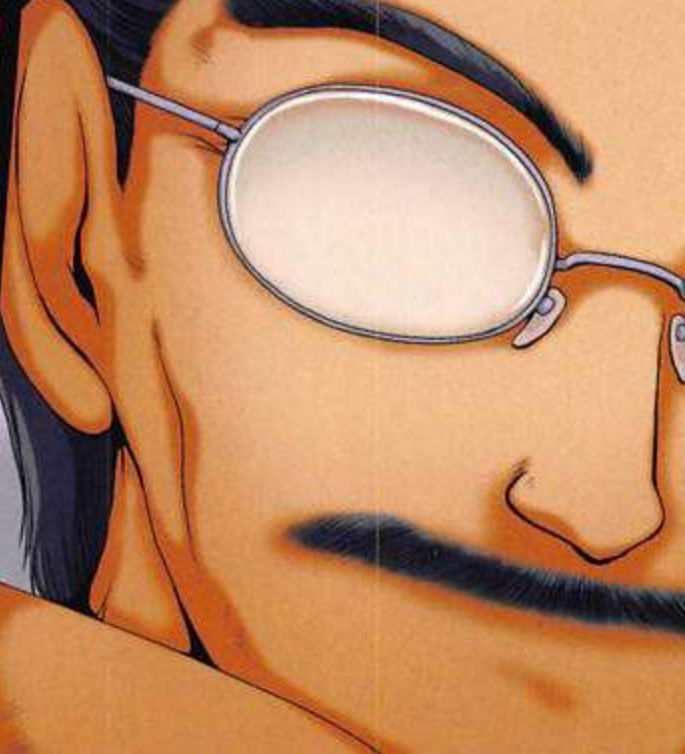
そして私は定期的に陸軍師団へと貸し出されます。そこには血気盛んな青年将校の方々が常時十名以上いらっやって……。

三日間ほとんど眠ることすら許されずご奉仕した後、ようやく承認を得て、私は帰宅しました。

躰を清めて、初更ごろ、旦那様の許を訪れるとまずはお口での奉仕を求められました。
ですが、私はきっと疲れていたのでしょう。



気が付くと旦那様のベッドで眠っていました。それになぜか毛布までがかけられており……。旦那様がかけてくださったのでしょうか。



エピソード6 夫妻の愛玩具 其の弐

冴子奥様はこのほか私を気に入って
くださったようです。私が奥様の馥郁
たる女陰に舌でご奉仕差し上げると、
とても飲んでくださるようすがひしひ
しと伝わってきます。
でも、この屋敷に甘言で連れ込まれた
女中は私が初めてではありませんでし
た。それを知ったとき、私は気が遠く
なるほどのめまいを覚えました。





泣いてる

ハア

ハア

ハア...

旦那様の
太い…

に、肉棒を

旦那様は私に徹底的に肉の悦びを
仕込みました。その上で、交わると
達する直前にわざと肉棒を引き抜き、
私を苛めるのです。
「何が欲しいのか言ってみなさい」
旦那様の台詞に私は寸毫ほども抗う
ことができませんでした。

あやの「アッ」

くだ…さ…





性の奴隷として
弄ばれながら、
その一方で躰の
疼きを止められ
ない、私は淫ら
な女です。
神様、どうか
私を罰してくだ
さい……。



エピソード7

蝋燭責め

ろうそく

今日もまた旦那様は私の奉公がなっていないとお怒りになり、折檻を宣告されました。でも私は分かっているのです、それが口実だと。旦那様は私を責め苛み、拷問を加えた上でそのようすを眺めて悦に入る生粋のサディストです。私は死以外全ての権利を剥奪されました。あとに残されているのはただ運命を受け容れることだけ……。

The NEXT
Cream
Lemon
is



RALL

Legend of Super-dimension

あとがき

18禁アニメ「黒猫館」を観たのはもう大昔だというのに、今でもその鮮烈さに心を奪われるのはなぜでしょうか。おそらくその理由が明確に分からないからこそ、わたしは同人作りをやめられないのでしょう。少しでもあの「黒猫館」に近づきたい、あんな物語を紡ぎたい、そう願って今日まで活動してきました。

まるで同人をやめるかのような口ぶりですが、そうではありません。いったん原点に回帰しようと思ったのです。わたしが考える原点とは「黒猫館」の魅力を抽出して、そのエッセンスを今一度わかりやすく提示することにあります。

このコンセプトに基づき、「黒猫館 肉の契り」は生まれました。本作の各エピソードはアニメ「黒猫館」を補完する内容に徹しており、そこからは意図的に逸脱させていません。あえてストーリーを展開させず、あの退廃的世界観を凝縮した上でじっくり魅せる、それを作品づくりの第一条件に設定しました。

ただし、変えた部分もあります。三キャラ（あや、冴子、亜理沙）の瞳の色はアニメではブラウン、ブルー、ブルーでしたが、本作ではグリーン、ブルー、レッドに変更してあります。アニメで脇役だったあやの瞳の色が（地味な）ブラウンなのは理屈として分かるのですが、今作のメインヒロインというポジションでブラウンはない、と感じました。

個人的にメインヒロインの瞳の色はエメラルドグリーンと決めており、奥様キャラの冴子はクールなブルー、小悪魔キャラの亜理沙は情熱的なレッドが似合うと思います。作画担当のらも兄さんはオリジナルのアニメ版から変えることに賛意を示しませんでした。そこは協議の末になんとか取り入れてもらいました。

とはいえ、その出来はいかがでしょうか。わたしは抜群に魅力的なキャラが生まれたと確信しています。艶やかで美しい黒猫館の世界に終わりはないのです。ここからさらに深化をめざしたい、そんな想いを抱きつつ、次回作では「超次元伝説 RALL」の深化に挑みます。オーバーコッヘン初挑戦のタイトルです。ご期待ください。

ローライ



あーゆう殿方がお相手なら
アリサ様もお幸せになるかも...

うーん ちよっと
頼りないけど...
誠実そうな人ね

2018年8月12日 発行

著者 ローライ らも兄

発行者 ローライ

発行 オーバーコッヘン

印刷 大陽出版

e-mail postmaster@oberkochen.sakura.ne.jp

http://oberkochen.sakura.ne.jp/rollei/

http://dhicool.sakura.ne.jp/yakilemon.html

Presented by
オーバーコッヘン
OBERKOCHEN

& 焼きレモン ROAST LEMONS

